

拠点名称：セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点

代表機関	東海国立大学機構 名古屋大学	プロジェクトリーダー	松田 亮太郎 東海国立大学機構名古屋大学大学院工学研究科 教授
参画機関	関西学院大学、電気通信大学、名古屋工業大学 株式会社アドマテックス、株式会社エヌ・ピー・シー、株式会社大阪ソーダ、有限会社オービタルエンジニアリング、株式会社キャタラー、株式会社クリアライズ、SyncMOF株式会社、ゼネラルヒートポンプ工業株式会社、中部電力ミライズ株式会社、帝国通信工業株式会社、東邦ガス株式会社、東洋アルミニウム株式会社、トヨタ自動車株式会社、NU-Rei株式会社、株式会社フルヤ金属、ポーライト株式会社、株式会社名城ナノカーボン、リンナイ株式会社、名古屋市		

プロジェクトの概要

本拠点では、「消費から“変環”へ～無理なく楽しく、資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国へ～」をビジョンに掲げ、従来の生産・消費・廃棄の概念を変革し、未利用だった資源・エネルギーに価値を見出し活用する“変環（変換×循環）”をキーワードに、市民自らが生産に参加する、資源・エネルギー自立型共創社会を目指す。

本拠点活動では以下の3つをターゲットとした取組みを行う。

- ①どこにでもある未利用資源・エネルギーの価値化・見える化
これまで着目されていなかった未利用資源・エネルギーから候補を見出し価値付け、可視化する。
- ②まちでの未利用資源・エネルギーの利活用
新たな“変環”資源・エネルギーに対して、それらを利活用するための技術開発を行う。
- ③“変環”ライフスタイルの醸成と教育
“変環”STEAM教育の場を提供し、創資源・創エネルギーへのマインドチェンジを市民全体へ波及させる。

本拠点には、名古屋大学が強みとする材料科学分野のうち特に資源・エネルギー分野の研究者と、既に研究実績がある企業群が結集しており、先端技術を用いた高いレベルで開発から実装までを実施する。また、名古屋大学の附属中高・博物館・スタートアップ事業と連携し人材育成を行うとともに、2022年度に名古屋大学に新設されたFuture Society Studioでの活動を活かして、市民・企業・自治体・大学が総合知によって社会課題解決に向けて協働する。

セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点



拠点ビジョン

消費から“変環”へ

～無理なく楽しく資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国へ～



従来の生産→消費→廃棄の概念を変革し、市民全員が生産者に!